

人権標語づくり (ゆめひろば)

8月22日(金)、ゆめひろばの「人権標語づくり」が、出雲市同和教育啓発指導員の森山公晴先生を迎え、低学年と高学年にわかれ行われました。この標語づくりをとおして、子供たちが自他の人権尊重について学び、人を思いやることの大切さなどを深く考えてくれたことを嬉しく思いました。



パステルアート (ゆめひろば)

8月6日(水)と19日(火)の2日間、ゆめひろばの「パステルアート教室」を開催しました。指導は園山幸美先生。

ゆめひろばの中でもパステルアートは子供たちに大変人気のあるプログラムです。子供たちは思い思いの発想で素敵な作品を完成させ大変喜んでいました。

【低学年】



【高学年】



マジックショー (ゆめひろば)

夏休みゆめひろば最終日の8月25日(月)は、マジックショーで半日を過ごしました。演者は、昭和歌謡バンドジージーズのリーダー春木薫さん。

手の中から生きた金魚が出たり黄色い紙が一万円札に変わったりなど、子供たちは目を丸くして大歓声をあげていました。

13日間のゆめひろばでしたが、子供たちの夏休みの居場所として有意義であったと思います。



出雲三中ボランティア (ゴミ拾い)

8月17日(日)、北山温泉周辺を出雲市環境保全連合会鳶巣支部の皆さん9人と第三中学校2年生10人がポイ捨てパトロールを行いました。

参加した生徒の皆さんは、ゴミがたくさん捨てられている実態を見て驚くと共に、住みよい環境を皆で作っていくことの大切さも学んでくれたと思います。



鳶巣の文化財

大寺薬師 (その1) ~ふるさと鳶巣物語から~

大寺薬師は、全国に誇る美術品ともいべき仏像を多数安置している寺院にも拘らず、その創建についての根拠等を伝える文書は何一つありません。その歴史を語るには、どうしても人々の伝承に頼らなければなりません。

大寺薬師は、智春上人(ちしゅんしょうにん)によって、594年(推古2年)に創建され、北山の日本海側に位置する鰐淵地区別所町の鰐淵寺(がくえんじ)の創建と同時期と考えられています。

伝承では、741年(天平13年)に僧行基が諸国巡歴の途中「大寺」に留まって薬師如来をはじめ多くの仏像を刻み、金堂、阿弥陀堂、釈迦堂、観音堂、七重大塔などを建て、諸仏を安置し護国の道場としたと言われています。往時の「大寺」は、現在地から300メートル奥の通称「広瀬」にあったと言われていますが、1650年(慶安3年)の大洪水による山崩れのため、寺堂や仏像の多くが破壊、埋没しました。その後、地域住民が薬師如来坐像ほか残存の仏像を集め、現在地の萬福寺境内に三間四面の薬師堂を建立し安置しました。

薬師如来坐像1体、脇侍菩薩立像4体、四天王立像4体の合わせて9体が、1902年(明治35年)に国宝に指定されましたが、戦後、法律が変わり国指定の重要文化財となりました。また、これらの仏像と共に、十二神将(じゅうにしんしょう)も揃って祀られています。【鳶巣の歴史を語ろう会】